

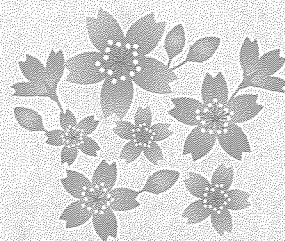
ふれあいひろば

松川町社会福祉協議会 Tel 0265-36-3778 編集・発行 ボランティア連絡会 編集部

*ボランティアだよりは皆様からご協力いただいた共同募金配分金で発行しています。

第42回 福祉を考える集会

テーマ ひとりで悩まんだっていいんだに
～私にできることを考えよう～



2月15日 第42回 福祉を考える集会が公民館えみりあで開かれました。
テーマは、「ひとりで悩まんだっていいんだに」。
役場からは、福祉の現状と基調説明が。事例発表では、人とつながる場作りを行っている、NPO法人 Hug 理事長 篠田 阿依さんと、NPO法人 ハナブサハウス代表の下澤 綾子さんから具体的なお話があり、そのハナブサハウスを見学した 福祉を考える会 運営委員の蒲 澄子さんから感想が発表されました。
また地域共生コーディネーターの関 秀之さんからは、共生社会についての説明がありました。
後半では8つのグループに分かれて、それぞれ活発な意見交換が行われました。参加された方は、「公民館長さんが講評で話された様に、飯田町の「いいんだに」が良かったよ」と話されていました。
2階で行われた出店も好評でした。 福祉を考える会 会長 原 節子

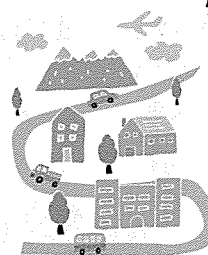
集會にご参加いただいた皆様の感想

町外から参加しました。

松川町の取り組みを知ることができ、自分の居住する場所でも何か取り入れることができればと考える時間にもなりました。

特に、地域共生社会についての発表がとても興味深く、これからの世の中にとっても大切な取り組みであると感じました。また、少人数での話し合いの時間もあり、いろいろな立場の方からのご意見がうかがえ、私も自分の考えを話すことができ、とても有意義な時間となりました。

まずは、自分にできることから始めたいと思います。



。すべての人たちが、役割や生きがいを共につくっていく社会、町になるようがんばっている。役場が、地域の人たちが集まる場になるように、というのは良い取り組み。

。松川町に住みながら、初めてハグの活動を知ったすごいなあ、ハナブサハウス松川、どこかで聞いた、何している所か、今後関われるのか知りたくなった。

。地域共生コーディネーターの取り組みは、具体的な取り組み、楽しいこと、ワクワクな事をひとりひとりが実践できる場はとていいですね。



。発表の内容も良かったですが、プレゼンのスキルも大変良かったです。

集會の冊子をお渡ししています。ご興味のある方はぜひ社協までお声がけください。

。今までつながらなかった人をつなげていく楽しさ。行政職として、新たな位置づけの職員ができたことで誇らしく思う。新しい仕事なので町民も一緒に、松川町のコーディネーターを作り上げていきたいらうすばらしい。

。子ども、保護者の方の心の支え（気持ち）を話せる、生活困窮者の方々などとなる大きな場所と理解できました。自分にできることは...と考えています。





えみりあホールいっぱいの人が集まり
第42回 福祉を考える集会在開催されました。ハグの篠田さん、ハナブサハウス
松川の下澤さん、地域共生コーディネー
ターの関さんから白頃の活動、取り組み
について基調説明がありました。
各々の方が熱い思いで取り組まれている
ことにまず感動！ 松川にこんなすば
らしい居場所ができたこと、うれしく思
いました。年齢、地域等問わず誰でも
気楽に行ける場所、早速利用させて頂き
ましたが、気さくなスタッフがいて楽し
かったです。
皆さんも是非行ってみてね 20代 女性



。松川町の福祉に対する
意識が根付いていると感
じました。42回続いてい
る歴史が物語っている

。悩み事を具体的に示し
たつながりの図を作成し
て、気軽に相談して参加
できる場につなげてもら
えるようにしたら良いと
思います。

。社協、町、ボランティア
の皆さんの力で、素晴ら
しい会でした。
参加者が、若い方が
多くて、うらやま
しく感じました。

松川町の官民協働の取り組みの
様子を見せていただきました。
熱い想いを持った方々が集まり、
情報交換や対話をする中で、希望
の一つが見えてくるといいなと思
いました。



117名のご参加ありがとうございました！

。広域でつながって活動
する新しい方向を考えて
いる（ハナブサハウス）
持ち寄りの食材で食事作
りをする自由さがよい。
イベントでは必ずアンケ
ートをとっている。その
姿勢が嬉しい。困り事や
悩み事をいつも知ろうと
する姿勢を感じる。
異年齢での交流がある、
大勢の人が集まっている
ので、これからが楽しみ
だ。

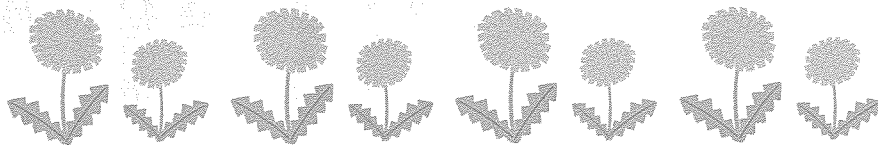


飯伊フロックボランティア交流研究集会

@さんとぴあ飯田

今年の研究集会は、2月8日(土)に飯田市のさんとぴあ飯田で開催されました。それぞれの地域で日々活動をしているボランティアグループや個人、関係者が集まった今年の研究集会には、130人程の参加者がありました。松川からは8人が参加しました。

講演会や、持ち寄り特産市や活動発表があり、それぞれの地域の様子を知らることができました。元気なボランティアさんの姿が印象的な研究集会でした。



ホーイ元氣？！

以前いただいた日のくりカレンダー

〃 等身大の自分で生きる 〃
〃 季節を感じながら歩く 〃
〃 愛のあることばを使う 〃
〃 くもりのない目で相手を見る 〃
〃 足を知る 〃
〃 考えるより行動する 〃
〃 人生の主人公になる 〃

今まで目を向けていたものの「ふーん」と過ぎして
きていたことは、最近では心にささったり、なるほ
どと納得して前を向いたり、考え込んだりしている。
〇〇しよう、〇〇しなくちゃ、も大事だけれど、
ここまでにしてよう、これで良いじゃん、という思いに
気持ちをもつていくことは、もつと大事と思うこの頃。
物の見方が変われば、感謝の気持ちとともに、いま
で気づけなかった人の優しさ、美しさに気づく。
自然豊かで、朝陽に、夕陽に照らされる山々に囲ま
れ、おいしい野菜や果物等いただいて、生きている
幸せを感じられている日々。尊いものです。

K・K

